

Journal of Environmental Information Science

投稿規程

Journal of Environmental Information Science は、国際的に環境情報科学の研究を促進するために、環境情報科学センターが発行する英文誌です。本英文誌は、環境情報科学に関するあらゆる分野をカバーしており、科学的価値のある独自の研究成果に基づく原著論文、総説、技術報告等を掲載しています。審査では研究の新規性を積極的に評価しています

* * *

1. 投稿資格

筆頭著者は当センターの正会員、名誉会員、準会員、賛助会員またはその構成員で、当年度の会費を納入済みであること。

2) 賛助会員またはその構成員（正会員および名誉会員を除く）が投稿する場合は、投稿数の上限を 1 口あたり年 2 編とする。

2. 投稿区分

投稿は下記の区分による。

① 原著論文：

環境情報科学に関する理論的または実証的な研究をまとめた論文で、目的、方法、結果、結論等が明示されており、学術的価値あるいは応用的価値が高く、独創性、新規性があるもの。

② 短報：

環境情報科学に関する短報で、目的、方法、結果等が明示されており、独創性があり、速報することで学術的価値あるいは応用的価値があるもの。

③ 総説：

環境情報科学に関する知見をまとめた総説で、議論の前提、論理展開、結論等が明示されており、学術的価値あるいは応用的価値が高く、独創性があるもの。

④ 報告：

環境情報科学の分野における学術的研究・調査、計画・設計、技術開発に関する報告で、独創性あるいは今後の発展の可能性があるもの。

3. 投稿条件

投稿は使用言語に係わらず未発表のものに限る。ただし、以下の事項のいずれかに該当する出版物などに掲載された原稿を本誌に相応しい形式に構成をまとめ直した原稿は、例外とみなし投稿することができる。この場合、投稿原稿の本文もしくは補注内に該当する印刷物・報告書等との関連について記すとともに、その旨の断りと該当する印刷物・報告書等の写しを添えて投稿すること。なお、投稿された論文がこの例外規定に合致しているか否かの最終判断は英文誌刊行等委員会が行う。

①学位論文の一部。

②シンポジウム、研究発表会、国際会議等での口頭発表などに伴う審査付きでない印刷物等。

③大学の紀要、研究機関の研究所報告等で審査を経ずに部内発表したもの。

④国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書等で、投稿者（連名発表者も含む）が著作権を有するなど、まとめ直して投稿することに支障のないもの。この場合には、委託先等からの承諾書を添付すること。

また、「環境情報科学 学術研究論文集」や他学会の学会誌等との重複投稿を禁ずる。

4. 論文等の掲載

採用が決定した論文等は、電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science」に掲載され、J-STAGE 上に公開される。

5. 原稿

(1) 原稿の執筆要領

原稿は、別に定める「Journal of Environmental Information Science 執筆要領」および執筆見本にした

がって執筆する。この要領にしたがっていない原稿は受け付けない。

(2) 原稿の分量

刷り上がり 12 頁以内とする（ただし、短報については 6 頁以内とする）。なお、刷り上がり頁数には、表題、著者名、要旨、図表、写真などを含める。

(3) 使用言語

英語に限る。

(4) 論文形式に係わる自己チェックについて

形式ミスの多い事項を記載した「論文体裁・書式に関する自己チェック表」をホームページよりダウンロードし、論文投稿時に提出する。なお、チェック表の記載に虚偽があった場合は審査を行わないので、十分注意すること。

(5) 誓約書について

上記「3. 投稿条件」を厳守した原稿である旨の当センター所定の誓約書を論文投稿時に提出すること。

(6) 原稿の提出

下記①～⑥のそれぞれについて電子ファイル化し、当センターホームページ上の電子投稿システム（ScholarOne Manuscript）を利用して提出する（①～②は PDF 形式、③～⑥は PDF もしくは jpeg 形式で提出すること）。⑦に該当する場合は、関連資料のコピーもあわせて提出する（容量が重くなる場合は、事前にメールもしくは郵送等にて本要領末尾に記載する問い合わせ先へ送付すること）。

- ・提出ファイルの総容量は 10 MB を超えないこと。

- ・ファイル名は各提出物の資料名（例：正原稿、査読用原稿、投稿票 等）を半角英数字で表記し、著者名は入れないこと。

- ① 正原稿：氏名、所属、謝辞を記し、行番号を付記したもの。

- ② 査読用原稿：正原稿から氏名、所属、謝辞をマスキング（スペースは確保しておく）し（審査の公正を保持するため、査読者にはこれらを伏せて送付するため）、行番号を付記したもの。

- ③ 投稿票

- ④ 論文体裁・書式に関する自己チェック表

- ⑤ 誓約書

- ⑥ 英語を母国語とする個人または翻訳会社等による英文校閲証明書類

- ⑦（該当者のみ）投稿要領における未発表扱いに関する資料

注）カラー図表のある論文はカラー掲載前提で審査する（オンラインジャーナルのため掲載決定論文についてはカラー印刷費用は不要。ただし別刷りでカラー印刷を希望する場合のみ著者実費負担とする）。

6. 審査の方法

提出された原稿は、以下のような方法で審査する。

(1) 査読委員の選定

英文誌刊行等委員会は審査を適正に行うために、投稿された論文 1 編に対し、英文誌刊行等委員の中から担当委員 1 名を定める。また、原則として、英文誌刊行等委員以外から、環境情報科学の研究・実務の知識および経験が深く、当該論文等の専門分野に近いもの 2 名以上を査読委員として選定して査読を依頼する。

(2) 査読結果の報告

査読委員は、別に定める「Journal of Environmental Information Science 査読要領」に示す内容にしたがって論文等の査読を行い、査読結果を所定の様式に記入して英文誌刊行等委員会へ提出する。担当委員は、その報告をもとに、原稿の採否等に関する意見を付して英文誌刊行等委員会に報告する。

(3) 原稿の採否

英文誌刊行等委員会は、担当委員の報告結果に基づき、当該論文等の採否を審査し決定する。その過程においては、英文誌刊行等委員会から投稿者に対して原稿の修正等を要求することができる。

7. 審査結果の通知

審査の結果は、メールにて通知する。審査結果が、修正依頼となった場合は、指定期日までに修正原稿を提出する。その後、再度審査を行い、その結果をメールにて通知する。

8. 最終原稿の提出

「採用」となった論文の最終原稿については、Word 形式の電子ファイルを提出する。提出方法等については別途該当者に通知する。

9. 著者の費用負担

以下の費用は著者が負担する。このうち①に関しては、投稿締切後に事務局から支払い手続きに関する連絡が連絡責任者に送られるので、その指示に従い遅滞なく納入すること。原稿が本要領に反するなどして受け付けられない場合でも返却されない。②から③に関しては、掲載決定後に遅滞なく納入する。なお、別刷りは、原稿が採用された後に申し込む。

- ① 論文審査料：10,000 円に非会員の連名者 1 名につき 3,000 円を加えた額
- ② 論文掲載料：20,000 円に非会員の連名者 1 名につき 7,000 円を加えた額
- ③ 別刷り作成費：30 部まで（表紙付き）6,000 円、それ以上については 1 部 150 円

10. 審査料等の支払い方法

- ・支払い方法は、オンライン決済（クレジットカード・コンビニ決済・バンクチェック）もしくは下記の銀行口座への振込から選択できる。

三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店 普通預金 1135239

口座名：一般社団法人環境情報科学センター

- ・支払い手続きの詳細は、別途事務局から連絡責任者に通知する。

11. 著作権

本誌の掲載論文の著作権にかかわる事項は、別に定める当センター「著作権規程」による。

12. 問合せ先

（一社）環境情報科学センター 英文誌刊行等委員会

E-mail memberinfo@ceis.or.jp

TEL 080-4869-0212 / 03-3265-3916（代表）